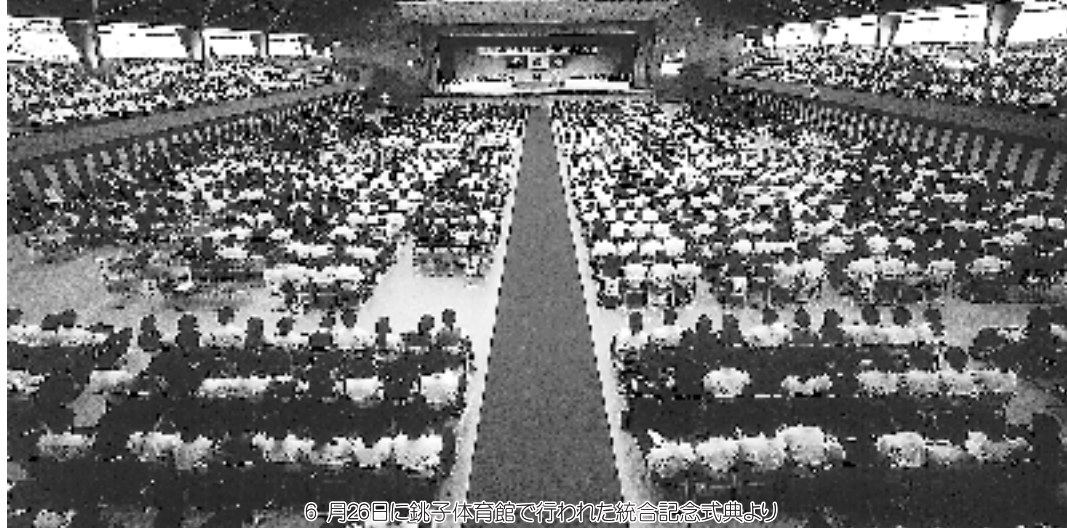


統合＝伝統と情熱のスパーク

同窓生3万人の新高校・出航



6月26日に銚子体育館で行われた統合記念式典より

市立銚子高校 同窓会だより

銚子市立銚子高等学校

同窓会報

創刊号

発行

銚子市野尻町1600

TEL 0479 332580

市立銚子高校同窓会

発行責任者 信田臣一

編集長 田杭和彦

印刷

三友舎印刷

清涼の候、皆様益々清祥のこととお慶び申し上げます。統合による新市立銚子高等学校の創立をお祝申し上げます。旧市立銚子高校（お山、銚高）と旧市立銚子西高校（西高）の同窓会も統合し、同窓生は



過去を振り返り、 未来へ

同窓会会長 信田臣一

約3万名（旧お山23,000名、旧西高7,000名）となり、両校の先輩諸兄、恩師へご報告致します。「過去を振り返れば振り返るほど将来が見えてくる」の格言から、新市立銚子高校は銚子市勢の絶え間ない発展と市民に支えられた春日台に立地する学校であり、銚子人が誇りをもった教育の場でなければならぬと考えます。お山、西高の創立の歴史が全てであり、過去、現在、未来でとらえると、戦前の銚子中学、戦後の新制高校と西高の設立、工業化学科、衛生看護科、今回の平成の大改革（合併）の新市立高校の未来と繋がってくるでしょう。

市勢と教育は関係するものの、一方教育の目標、新高校の理念をここではつきりさせ、同窓会も卒寿、白寿を迎える先輩にも支援して頂くために、同窓生にお伝えします。それは『知、徳、体のバランスのとれた教育、校章に象徴される明るい威勢のある校風、生徒諸君がのびのびと学び、各自の進路希望を実現し、地域に貢献できる人材へと成長すること。充実した教育環境の整備』（森村隆二初代校長談）。この中で最も大切なことは「和」と教育の成果として大学の進学実績を上げることでしょう。まず同窓生はここに注視しております。新

高校の未来は市立高校として、

千葉県下とその名を進学実績と共に名声を上げてほしいと念願しております。過去を振り返り、将来、未来に希望と明るさ、人材育成に必要な知と徳（心）があります。それはお山の工業化学科の50年（卒業生3,500名）と、衛生看護科33年の歴史（現在の2年生が卒業する）と卒業生1,244名）であり、『看護の対象は心と体に病のある患者様です。病气や本当の思いを察知できる感性と相手の尊厳を損なわない態度や言葉使い、服装、最も基本的要素です』（大塚朱美看護科長談）。

普通高校主体の旧両校に、工業化学科、衛生看護科（平成20年募集停止）があったことは事実であり、より優秀な進学校を目指すとき我々同窓生が誇ったこれら両学科が社会に認められ、その上に進学校としての教育のDNAが続くよう希望します。

今後新高校同窓会にご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



母校は今



統合後の学校の状況について

初代校長 森村 隆 二

会員の皆様には、日ごろより本校の教育に対し格別のご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。

平成20年4月1日に旧「銚子市立銚子高等学校」と「銚子市立銚子西高等学校」は統合し、新「銚子市立銚子高等学校」となりました。看護専攻科を含めて学級数31、生徒数1,236名、教職員数114名となり、千葉県公立高等学校では、県立幕張総合高等学校に次いで2番目の大規模校となりました。卒業者数も旧「お山」22、793名、旧「西」7、716名、合計30,510名となり、3万名を超えました。

平成19年度の両校の同窓会総会で承認されました銚子市立銚子高等学校同窓会会則に基づき、去る7月26日に新高校の同窓会総会が開催されました。その際、旧「お山」の

同窓会会長 信田臣一氏が新会長として選任されました。旧「西」の同窓会長 高野幸夫氏におかれましては、「西」の教育活動の推進のため、ご尽力いただきまして、衷心より感謝いたします。信田新会長をはじめ、同窓会の皆様には、本校の現状を深くご理解いただき、各方面に援助の手をさしのべてくださいますようお願い申し上げます。

さて、現在までの新高校の状況ですが、4月7日に本校体育館において、嶋田賢・銚子市教育委員長より統合宣言がなされました。4月8日には、作曲家の池辺晋一郎氏、作詞家の村田さち子氏をお招きし、銚子市青少年文化会館におきまして、本校吹奏楽部、2・3年生の有志200名による校歌披露式を行い、続いて、入学式を挙行いたしました。315名の新入生の保護

者や両校の同窓会役員の方々等には悪天候の中ご出席を賜り、誠にありがとうございました。さらに、6月26日には、作詞家の村田さち子氏をお招きし、銚子市体育館におきまして、来賓・保護者・生徒・教職員合わせて1500名で統合記念式典を挙行いたしました。また、前日の6月25日の銚子市議会におきまして、新校舎建設が正式に可決され、平成22年7月までに春日台に建設されることになりました。両校の生徒が一緒になって、6ヶ月が過ぎようとしていますが、現在までのところ大きな混乱もなく無事に過ごしております。統合後、部活動の生徒数は各部とも多くなり、活気に満ちています。授業については、1年生から3年生まで1クラス2分割の授業が多く実施され、落ち着いた雰囲気です。4月・5月には保護者を対象、6月・7月には近隣の中学3年生・保護者・中学校関係者を対象とした公開授業を5回実施し、いろいろなご要望・ご意見を伺いました。できることから速やかに実施しております。今後とも遠慮なく学校にご意見・ご要望をお寄せ下さい。



写真
下右/4月7日、本校体育館で行われた統合宣言式
下中/4月8日、校歌披露式では、作曲家の池辺晋一郎氏自ら指揮を執った
下左/入学式は、銚子市青少年文化会館が会場に



部活動・最近の成績

写真

上右/4月17日、第29回戴帽式。校長先生から、ナースキャップを戴下
 上中/5月3日、校内スポーツテストの一場面
 上左/6月5日、一年生の総合学習で、江戸川大学ライフデザイン学科
 長の斗鬼正一教授の講演があった。教授は、日本テレビの番組
 「世界一受けたい授業!!」にも出演している
 下右/6月、インターハイの出場を祝う横断幕が掲げられた
 下中/6月26日、銚子市体育会で行われた統合記念式典。多くの来賓の
 出席があった
 下左/統合記念式典での記念講演は、校歌の作詞者の村田さち子氏。う
 さぎのミッフィーは、村田氏が名付け親だった

陸上競技部
 男子110メートルハードル
 関東大会出場
 宮負 圭佑 (3年)
 ポート同好会
 千葉県高校総体 優勝
 小林 弘茂 (2年)
 (全国大会出場)
 弓道部
 関東高等学校選抜弓道
 個人選手権出場
 金井あずさ (2年)
 (県予選1位タイ)
 吹奏楽部
 東関東吹奏楽コンクール金賞
 (17年連続出場)

今年の進路状況

進学

平成19年度入試合格状況

種別	現役合格	浪人合格
国立大学	51	5
私立大学	643	45
準大学	1	
国立短大	1	
私立短大	32	
専門学校	66	

(合格者数は延べ数です)
 主な大学
 (国立) 千葉大、茨城大、
 横浜国立大、東京農工大
 (私立) 慶應大、早稲田大、
 国際基督教大、上智大、立教
 大、文教大、千葉工大、千葉
 科学大、駒澤大、専修大、大
 東文化大、中央大、東海大、
 帝京大、東京農大、東洋大、
 日本大、法政大、明治大、神
 奈川大

就職

旧市立銚子 学校推薦 26名
 銚子市内 信田缶詰(株) 1
 千葉近郊 (株)京葉銀行 2 / 佐
 川急便(株) 1 / (株)フジクラ 佐倉
 事業所 1
 茨城県 大日本インキ化学工
 業(株) 1 / JSR(株) 1 / 住友金
 属工業(株)鹿島製鉄所 1 / (株)ジャ
 パンエナジー 1 / 花王(株)鹿島
 工場 1 / 旭硝子(株)鹿島工場 1

／ライオンケミカル(株) 1 / (株)
 クラレ鹿島事業所 2 / 鹿島ボ
 リマー(株) 1 / 三菱化学(株)鹿島
 事業所 3 / (株)トクヤマ 2 / (株)
 三菱化学安全科学研究所 2 /
 日本化学(株)鹿島工場 1 / 東京
 電力(株)茨城支店 1 / 田辺三菱
 製薬(株) 1 / 楠本化成(株) 1
 自営 2名
 男子 24名 (普通科 3、工業化学科 21
 女子 4名 (普通科 4)
 合計 28名 (普通科 7、工業化学科 21
 旧市立西高 学校推薦 20名
 銚子市内 銚子商工信用組合
 1 / ヒゲタ醤油(株) 1
 千葉近郊 (株)京葉銀行 1 / ネ
 グロス電工(株)成田工場 1 / 国
 民宿舎のさか望洋荘 1 / 東京
 電力(株)千葉支店 2 / 児玉メデイ
 カルクリニック 1 / 朋和産業
 (株) 2 / 朋和産業(株)干潟工場 1
 / (株)不二精工 1 / 日本郵政(株)
 1 / ホテル日航成田 1 / 旭福
 社やすらぎ園 1
 茨城県 鴻池運輸(株)鹿島事業
 所 1 / (株)ユメニティ 1 / (株)ク
 ラレ鹿島事業所 1
 東京 (株)フアイブフォックス
 1 / (株)鈴丹 1
 公務員 7名
 印旛村立いには野小学校 1 /
 横芝光町立日吉小学校 1 / 山
 武市立山武北小学校 1
 県内消防署
 銚子・旭・成田消防署 3 / 東
 京消防庁 1
 男子 13名 (普通科 13)
 女子 14名 (普通科 13、看護科 1)
 合計 27名 (普通科 26、看護科 1)

同窓会 REPORT

平成20年度総会

平成20年7月26日(土) 銚子プラザホテルにおいて午後5時15分より両校同窓会統合後初めての総会が開催された。出席者は66名(旧お山卒56名、旧西高卒10名)で、西高一期生を中心に若手?が多数加わり、市外、県外からも10名以上が参加した。

初めての総会ということで緊張した雰囲気も若干あったが、信田臣一お山同窓会長、高野幸夫西高同窓会長の挨拶に続き、岡野俊昭銚子市長、森村隆二校長の来賓挨拶と滞りなく総会が進んだ。議事のはじめに新役員が決定され、信田臣一氏が会長、高野幸夫氏は副会長として他の役員、会員と協力して新同窓会を盛り上げていくことが確認された。また、質疑では、事業内容、活動方針、新同窓会の位置づけについて積極的な質問がだされ、新同窓会の在り方について認識がより深まり意思統一ができた。

当日は総会の前に、映画監督の根本銀二氏(昭和52年卒)

の『映画の魅力に魅せられて』と題しての講演会、総会後に懇親会が開催された。懇親会ではビンゴゲームで豪華な景品に大いに盛り上がり、また全員の近況報告を兼ねたスピーチに笑いがあふれた。最後にお山、西高、新高校の3つの校歌を全員が一つの輪になり肩を組んで歌い、来年の総会での再会を誓った。

(事務局次長/岡根康裕)



総 会



懇 親 会

同窓会会員数 (卒業生総数)

平成20年3月末予定	回数	男	女	計
旧制中学校	8	668	0	668
併設中学校	2	51	0	51
銚子 普通科	60	11,406	7,169	18,575
銚子 工業化学科	48	3,296	204	3,500
旧銚子中学・高校合計		15,421	7,373	22,794
銚子西 普通科	30			6,547
銚子西 看護科	29			1,169
(専攻科)	2			※ 73
銚子西高校合計				7,716
銚子・銚子西総合計				30,510

※専攻科は全員本校看護科卒 (平成20年3月)

市立銚子高校 同窓会役員

役職	氏名	卒年・学科
会長	信田臣一	S38・山普
副会長	高野幸夫	S56・西普
副会長	金井洋夫	S32・山普
副会長	宮内敏	S36・山工
副会長	辰野正樹	S37・山普
副会長	杉山俊明	S44・山普
副会長	平野恭男	S45・山普
副会長	大木乃夫	S45・山普
副会長	花香享則	S56・西普
副会長	新川雅仁	S56・西普
事務局長	佐藤弘之	S51・山普
事務局次長	島田洋二郎	S48・山普
事務局次長	岡根康裕	S53・山普
会計	向後伸志	S54・西普
会計監査	菱木仙之助	S52・山普
顧問	西川照幸	S18・中普
顧問(校長)	森村隆二	
顧問(教頭)	弓削直樹	
顧問(教頭)	安藤清	S50・山普
顧問(事務長)	宮内義彰	S44・山普

平成20年 4月7日(月) 統合宣言式 本校体育館
 4月8日(火) 校歌披露式・入学式 銚子市青少年文化会館
 4月28日(月) 教職員歓迎会 銚子プラザホテル
 5月16日(金) 正副会長会議 銚子プラザホテル
 5月30日(木) 同窓会統合について
 6月5日(金) 正副会長会議・機関誌編集会議 銚子市体育館
 6月26日(土) 統合記念式典 銚子市体育館
 7月7日(土) 記念講演会 村田さち子氏『出逢いの中で』
 7月26日(土) 祝賀会 銚子プラザホテル
 7月26日(土) お山校舎開放・見学会旧市立銚子高等学校 銚子プラザホテル
 7月26日(土) 同窓会総会 16時 銚子プラザホテル
 7月26日(土) 講演会 根本銀二氏
 7月26日(土) 演題 『映画の魅力に魅せられて』
 9月19日(金) 懇親会 18時
 9月19日(金) 「同窓会だより」(第1号) 発送予定
 9月20日(土) 卒業生・職員・在校生・その他に配布
 9月20日(土) 文化祭
 11月9日(中) 卒業生「夢授業」 対象1年生 本校
 11月11日(中) 教職員春台会総会・懇親会 銚子プラザホテル
 11月11日(中) 正副会長会議 銚子プラザホテル
 11月21日(中) 幹事会・懇親会
 12月21日(中) 同窓会入会式
 3月31日(火) 職員送別会
 3月8日(日) 卒業式
 3月7日(土) 同窓会総会
 3月7日(土) 幹事会・懇親会
 3月7日(土) 同窓会入会式
 3月7日(土) 卒業式
 3月7日(土) 職員送別会
 この他、正副会長会議は必要に応じて開かれます。

平成20年度 同窓会事業計画

銚子市立銚子高等学校同窓会会則

(名 称)
 第1条 本会は銚子市立銚子高等学校同窓会と称する。

(目 的)
 第2条 本会は会員相互の融和向上を図るとともに、母校の充実発展に寄与することを目的とする。

(事務局)
 第3条 本会は事務局を銚子市立銚子高等学校（以下、「本校」という。）内に置く。

(事 業)
 第4条 本会は第2条の目的を達成するため、各種の事業を行う。

(会 員)
 第5条 本会は次の会員をもって組織する。

1 正 会 員

- (1) 市立銚子中学校四年修了者及び卒業生
- (2) 市立銚子高等学校卒業生及び併設中学校卒業生
- (3) 銚子市立第一高等学校卒業生
- (4) 銚子市立銚子高等学校卒業生
- (5) 銚子市立銚子西高等学校卒業生
- (6) 本校に在籍した者で役員会において承認した者

2 準 会 員 本校に在籍している者

3 特別会員 現旧職員

4 賛助会員 本校に縁故ある者で幹事会の推薦により会長の承認した者

5 名誉会員 県立及び組合立銚子中学校卒業生及び本会に特別の功労があつて会長が推薦する者

(役 員)
 第6条 本会は次の役員を置く。

1 会 長	1 名
2 副会長	若干名
3 事務局長	1 名
4 委員長	若干名
5 会 計	2 名
6 会計監査	2 名
7 顧 問	若干名

(役員の出選等)
 第7条 役員の出選は次の通りとする。

- 1 会長、副会長及び会計監査は、幹事会で推薦し、総会の承認を得る。
- 2 事務局長、委員長及び会計は、会長が推薦し、総会の承認を得る。
- 3 顧問は校長、教頭、事務長及び幹事会で推薦し総会で承認を得た者とする。

(役員の仕事)
 第8条 役員の仕事は次の通りとする。

- 1 会長は本会を代表し、各種会議を招集し、その議長となり会務を総理する。
- 2 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を代行する。
- 3 事務局長は別に定める事務局を運営し、常務処理にあたる。
- 4 委員長は別に定める専門委員会の常務処理にあたる。
- 5 会計は本会の会計事務一切を処理する。
- 6 会計監査は本会の財産状況を監査する。
- 7 顧問は役員との相談役として、会長の諮問に答える。

(役員の仕事)
 第9条 役員の仕事は2年とする。ただし、再選を妨げない。

(幹 事)
 第10条 幹事は卒業年度毎の卒業生（以下「学年同期生」という。）から互選された者と会長が委嘱した者とする。

第11条 幹事は学年同期生の連絡調整にあたるほか、幹事会を組織して、本会の運営に参画する。

(会 議)
 第12条 本会の会議は、総会、臨時総会、幹事会、役員会及び委員会とする。

- 1 総会は本会の最高議決機関で毎年1回開催する。
- 2 総会は次の事項を審議する。
 - (1) 第6条の役員承認
 - (2) 事業・会務報告の承認

- (3) 決算・予算の承認
- (4) 会則の改正
- (5) その他重要事項

3 臨時総会は会長が必要と認めたと幹事会の議決によって開催する。

4 幹事会は総会に次ぐ議決機関で毎年1回以上必要に応じ開催する。

5 幹事会は次の事項を審議する。

- (1) 総会上程事項
- (2) 運営に必要な細則の制定
- (3) その他重要事項

6 役員会は本会の執務機関とし第6条の会長、副会長、事務局長、委員長及び会計で組織し、必要に応じ開催する。

7 委員会は各専門委員会別に開催する。

第13条 本会の会議の議決には、出席者の過半数を必要とする。

(会 計)
 第14条 本会の会計は、入金金・会費・寄付金・その他の収入をもって充てる。

第15条 本会の会計年度は、4月1日より翌年3月31日までとする。

(改 正)
 第16条 本会の会則改正は、幹事会の議決を得たうえで総会で承認を受ける。

第17条 本会の細則改正は、幹事会の承認による。

(付 則)
 第18条 本会則は平成20年4月1日より有効とする。

【細 則】

会費細則

- 1 会員は下記会費を納入する。

(1) 入 会 金	4,000円 (卒業時)
(2) 会 費	年会費 1,000円
	終身会費 10,000円

事務局細則

- 1 事務局は事務局長、校内職員及び幹事によって構成する。
- 2 事務局は学校と同窓会の連絡調整の他、下記のことを行う。
 - (1) 本会運営の推進
 - (2) 会合・行事の案内
 - (3) 会員名簿の整備
 - (4) 事業・会議の記録
 - (5) 会費関連
 - (6) その他

委員会細則

- 1 委員会は委員長の他、幹事より選出された委員で構成する。
- 2 委員会は各専門分野の事業を遂行する。
 - (1) 総務委員会
 - (2) 組織委員会
 - (3) 広報委員会
 - (4) 事業委員会



新校舎イメージ（予定）
 平成22年夏には、春日台に建設される新校舎に移転します。

統合経緯

積み重ねた五年、交錯する思い

教頭 安藤 清

平成20年4月1日、市立銚子高校(お山)と同銚子西高校(西高)の統合により新銚子市立銚子高校が誕生しました。4月7日、市教委により

統合が宣言され、翌8日には、新校歌「輝やかな道標」が披露されました。日本を代表する作曲家池辺晋一郎氏と作詞家村田さち子氏の作によるものです。続いて、新高校最初の入学式が行われました。旧西高の校舎で無事スタートした新高校は、生徒数が1200名余という大規模校です。

お山は銚子が市制を施行して間もない昭和12年に創立され、以来70余年の歴史を刻んできました。一方、西高は生徒急増期の昭和51年に創立され、この時期に次々と開かれた公立高校の中でもひととき存在感を示す高校となりました。両校とも卒業生にとつて心の拠りどころとなり、誇りとする学校でした。

市立高校の統合は、平成15年に市教委が発表した「市立高等学校再編方針」に始まります。半年後、新高校の場所と目指すべき学校像を明らかにした市教委は、二つの委員会を委嘱し、統合及び新たな

高校づくりの準備に取りかかるとともに、両校の定員減を進めました。

統合検討委員会は新高校に単位制の導入を提言しました。統合準備委員会は、教育課程等、学校運営に必要な諸事項を調べ、検討委員会の指示のもとで制服や校章、校歌等を制定してきました。準備委員会は、平成16年秋から統合直前まで、のべ31回に及ぶ会議を続けてきました。準備委員会のもとで、統合前年から、単位制、少人数学習制度別授業、土曜日公開授業等が始まりました。この平成19年度、市教委は西高看護科の募集停止及び新高校の理数科設置を決定しました。また、お山の工業化学科は最後の卒業生を見送りました。

こうした慌ただしい動きの中、別々に生活してきた両校生徒が同じ学校の生徒として融和していくための準備や、後援会及び同窓会の統合準備も順調に進められました。

新校舎整備に関しては、PFI方式で春日台に新校舎を建設するという計画です。昨年9月市議会でも新校舎整備に関する予算が可決されたのを受けて、事業者を公募した結

果、今年3月に三菱UFJリース(株)を代表とするグループが選定されました。今年7月には、このグループが設立した銚子スクールサポート(株)が事業契約を結んでいます。

統合は、いくつもの小さなドラマを生み出しました。昨秋のある日曜日のこと。夕方、西高卒業生の2人の女性が母校を訪ねてきました。今度、統合になって西高の校舎は取り壊されると聞いたので、その前に見に来たというわけです。彼女たちは横浜と大阪に住む方々でした。西高の校舎は残るという説明を聞いて安心したのでしょうか、2人は、正面に聳える西高のシンボル、椎の太木の前で写真を撮って帰っていききました。

今年3月のこと。まだ先のことだと思っていたお山からの移転の日は、「予定通りに」やってきました。バスケットボールのゴールが中学校へ譲渡されてすでになくなってしまった体育館の中で、「最後の日」まで部員たちにお山で練習させてやりたいと思っていました顧問は憤りました。解体を待つばかりの自分の教科準備室と教室を、すぐにでも授業を再開できるほどきれいに片づけ掃除して去ったのも、彼でした。

お山の校舎の解体が始まっています。新高校は、平成22

年度には普通科・理数科24学級、看護科専攻科2学級になり、この年の夏、春日台の新校舎に移転します。

同窓生の皆さまには、これから新市立高校が歩む長い道のりを、温かく見守ってくださいようお願いいたします。



8月に入り、旧お山の校舎の解体が始まった。写真は、9月1日のもの。11月中まで解体撤去が続く予定だ。旧校舎のコンクリート部分などは、細かく砕いて、新校舎の建設資材の一部に再生される予定



今も学校のシンボル。玄関前の椎の木

会費の納入をお願いします!! 年会費1,000円

振込先 郵便局 口座名 銚子市立銚子高等学校同窓会 口座番号00100-2-189041

一年は早いものです。つい忘れがちなので是非この機会に終身会費をお願いします。(10,000円)

終身会費納入者 (平成19年4月より平成20年8月まで納入分) (卒業年順・敬称略)

昭和17年卒 藤代 保	(亀山)高山和子 野口 雅之	榎 敬一郎 網中 廣和	昭和46年卒 (穴倉)椎名三重子 鈴木 芳美	本宮 照康 (石川)宮島みゆき	(平野)瓜生 毅 (海保)御園生幸雄	(塚田)和田理恵子 山谷 宏之	阿部 仁美 土川 峰弘	高橋 陽介 山口 一輝
昭和20年卒 田中嶋 稔 (七)岡部秀雄 (尾野)加瀬昭次郎	太田 勝美 杉山 雄厚	高野 宗貴 (多田)小川絹代	鈴木 芳美 古谷 宗久	(飯田)大塚理恵子 (土手)海宝慶子	昭和56年卒 松本 達也 (土佐)中澤祐子	大木 朋之 小林 広人	岩間 由樹 長岐 寿子	山口 友見 市村 房治
昭和22年卒 山内 咲夫 昭和22年卒 宮内 昭	昭和37年卒 (小川)長崎宏子 佐久間将征 佐谷登美雄	守 正嗣 (高橋)正宮 茂	河原 宏 (久我)金本典子	辻野 等 (飯田)大塚理恵子	(廣谷)門田桂子 (神原)梶山牧子	鴨志田真義 昭和61年卒 石上 雅資	今津 知久 溝口 伸久	古川 友寛 加瀬 論
昭和24年卒 関根 巖 (花塚)福井毅	植田 廣 小田 浩靖	磯部 洋二 林 正憲	向後 充 廣瀬 妙子	水塚 利夫 昭和52年卒 荒井 和志	小林 幸也 加藤 正人	山口 哲男 (千代田)小林 栄	高野 誠啓 岩崎 孝治	鈴木 久美子 石村 賢弥
昭和25年卒 伊藤 健 江波戸康夫	昭和38年卒 小堀 明 (多田)駒形光子	菊地 秀行 (菅谷)染谷久子	安藤 時江 石上新平	根本 雅文 (菅沢)佐藤利江	宮内 友子 柿沼 郁夫	高木 啓之 八角 明慶	洪谷 岳人 石毛 忠明	小林 希 崎本 李子
昭和26年卒 江幡都喜男 大後 芳郎	藤代 徹 来栖 暁子	篠塚 保 田向 重喜	石上 新平 大木 基正	(菅沢)佐藤利江 (宮内)土屋淳子	野口 雅博 飯岡 正健	原 貴子 (五十嵐)松島妙子	桧垣 有希 溜川 健一	土佐 奈津季 松永 修明
昭和27年卒 篠塚 正敏 田村 孔克	昭和40年卒 向後 實 江戸野行雄	篠塚 保 田向 重喜	渡辺 正宏 昭和47年卒 (宮内)竹川桂子	(宮内)土屋淳子 鈴木 美和子	飯岡 正健 林 雄一	昭和62年卒 松永 大泉	名雪 美沙子 平成10年卒 今津 和之	佐久間 祐太 古田 勝久
昭和28年卒 越川 修 吉田 克次	昭和41年卒 加瀬 堯正 来栖 昭一	遠藤 孝典 網中 勝弘	昭和47年卒 (宮内)竹川桂子 遠藤 孝典	戸石 素夫 宮本 匡章	(渡辺)井上茂之 和田 修	昭和63年卒 滑川 和男	平成10年卒 今津 和之 椎名 崇文	江崎 龍城 及川 智平
昭和29年卒 平野 重信 昭和30年卒 梅原 良夫	昭和41年卒 加瀬 堯正 来栖 昭一	網中 勝弘 遠藤 博子	昭和48年卒 半谷 好弘	宮内 郁枝 (宮)小川洋子	和藤 博之 昭和57年卒 (鶴川)廣野典子	江波戸美智子 中島 康博	平成10年卒 今津 和之 椎名 崇文	及川 智平 加瀬 祐之
昭和31年卒 内海 泰 本間 定男	昭和41年卒 加瀬 堯正 来栖 昭一	遠藤 博子 遠藤 博子	昭和48年卒 半谷 好弘	昭和53年卒 林 寛	(鶴川)廣野典子 (貴志)信太和恵	中島 康博 平成元年卒 池永 昌弘	平成10年卒 今津 和之 椎名 崇文	加瀬 祐之 平成18年卒 玉造 彩野
昭和32年卒 吉原 広康 石毛 久雄	昭和41年卒 加瀬 堯正 来栖 昭一	遠藤 博子 遠藤 博子	昭和48年卒 半谷 好弘	昭和53年卒 林 寛	(貴志)信太和恵 (桜井)田中洋子	池永 昌弘 山口 佳子	平成10年卒 今津 和之 椎名 崇文	玉造 彩野 古田 竜也
昭和33年卒 加瀬 勝広 油木 宏文	昭和41年卒 加瀬 堯正 来栖 昭一	遠藤 博子 遠藤 博子	昭和48年卒 半谷 好弘	昭和53年卒 林 寛	(貴志)信太和恵 (桜井)田中洋子	山口 佳子 越川 博	平成10年卒 今津 和之 椎名 崇文	古田 竜也 當金 志保
昭和34年卒 瓦林 明 (吉田)酒井睦子	昭和41年卒 加瀬 堯正 来栖 昭一	遠藤 博子 遠藤 博子	昭和48年卒 半谷 好弘	昭和53年卒 林 寛	(貴志)信太和恵 (桜井)田中洋子	越川 博 (須之内)宮本千恵	平成10年卒 今津 和之 椎名 崇文	當金 志保 遠藤 弘基
昭和35年卒 寺井 潤一 三浦 政次郎	昭和41年卒 加瀬 堯正 来栖 昭一	遠藤 博子 遠藤 博子	昭和48年卒 半谷 好弘	昭和53年卒 林 寛	(貴志)信太和恵 (桜井)田中洋子	竹中 洋子 (山田)池永葉子	平成10年卒 今津 和之 椎名 崇文	遠藤 弘基 小林 歩
昭和36年卒 向後 啓一郎 加瀬 紀史	昭和41年卒 加瀬 堯正 来栖 昭一	遠藤 博子 遠藤 博子	昭和48年卒 半谷 好弘	昭和53年卒 林 寛	(貴志)信太和恵 (桜井)田中洋子	御所 脇 巧 平成12年卒 石毛 美帆	平成10年卒 今津 和之 椎名 崇文	小林 歩 山口 裕貴
山口 尚武	昭和41年卒 加瀬 堯正 来栖 昭一	遠藤 博子 遠藤 博子	昭和48年卒 半谷 好弘	昭和53年卒 林 寛	(貴志)信太和恵 (桜井)田中洋子	御所 脇 巧 平成12年卒 石毛 美帆	平成10年卒 今津 和之 椎名 崇文	山口 裕貴 薄田 恭兵

終身会費 納入者一覧

同期の桜

北から南から

あの人・この人 P.S.元気ですか？

このコーナーは、同窓生みなさんの近況報告や思い出、ご意見などをお寄せいただくページです。みなさんのまわりで活躍されている同窓会員の情報やみなさんの近況など気軽にお寄せください。

同窓会事務局（銚子市立銚子高等学校）

TEL 0479-33-2580 / FAX0479-33-2582

または、peke@choshinet.or.jp までお願いします。



(昭和54年西卒 西高初代生徒会長)

安藤 睦

今なお夢の途中

我々西高一期生は、何もかもが新鮮でした。歴史と伝統がないその代わりに、自分達が歩むその足跡で、歴史と伝統をまっさらで純白のキャンパスに描き刻めることができるからです。そう、その極めて稀で恵まれた環境に巡り合えた感動が、熱い想いに満ち溢れ、未来への夢と希望を描く原動力になっ

ていました。

創立1年目は、引越して使わなくなった猿田小学校の仮校舎で過ごし、狭い校庭に堂々と佇む椎の木を囲み、設備が整っていない代わりに、心の絆を育んだ1年でした。一方、衝突もありました。既存の枠に囚われない校風を創りたいと願う生徒達と、この新高校を、「既存の高校に負けない進学校に作りあげる」との先生方の願い。その願いが情熱となり、情熱と情熱がぶつかり弾けたのです。このように貴重な創世記を経験させていただいたこと、今思えば感謝の念で一杯です。さて愚輩は、今なお夢の途中の真つ最中で、それは、高校時代から活動しているロックバンド活動を経て自作自演の、いわゆる「シンガー・ソ

ングライター」と呼ばれる音楽活動です。過去「ロック&ポップス」と呼ばれるジャンルは、年齢28歳が限度でしたので、28歳以降は年齢不問の作曲家として、各楽器を重ねて録音する、多重録音での音楽活動から、パソコンで音源を演奏させるディスクトップミュージック活動。

時は流れ、「シンガー・ソングライター」としての応募条件が年齢不問となり、Live活動復活。

そして今は、インターネットを介し、ホームページに自分の音源をアップロードし試聴して頂き、興味を持った方に「フルバージョン」のCDをプレゼントするという、プロモーションを展開中です。何故無料なのか？メジャーと呼ばれる音源はテレビ・ラジオ・有線等により無料で不特定多数の方々に提供してプロモーションを行っています。自分はメジャー流通網を持たないので、発想を転換し、世界を結びインターネットを紹介し、より幅の広いマーケットの開拓に夢を馳せています。

「発想を転換し夢と希望を描く」これが西高時代に培った最大の財産であると今更ながら感謝する次第です。最後に、統合により新しき高校が誕生した。そう、まさに今は夢と希望の真つ只中に置かれています。

願いは一つ！新しき母校よ！永久に栄光あれ。森澄睦（ホームページhttp://p.08.wakwak.com/~moko-motsumi/）

伊藤博夫先生を偲びながら 当時をふりかえる 五十嵐 (旧姓高根) 礼子

(昭和56年西卒)



西高に入学したのは今から30年も前の昭和53年のことになりました。

実は、衛生看護科に入学したのは、看護師になりたいというより両親に勧められるがままでしたが、人の役に立っている仕事もいいなあと何となく思ったことがきっかけでした。

クラスの雰囲気は、TVドラマのごくせん女版のような感じでしたから、田舎中学から一人で入学してきた私は、自己主張をしたり誰とでも話しかけられるような社交性が乏しかったせいか、当時は不安な気持ちでいっぱいだったことを思い出します。このようなクラスで3年間担任をし

てくださったのが、亡き伊藤博夫先生でした。きつと先生は、このクラスをまとめていくというより、どうやって卒業させることが出来るかで頭を悩ましていたに違いありません。今思えば本当に大変なことだったと思います。当時は「喜怒哀楽」でまとめようと思いましたが、特に哀と楽に絞ろうと思います。

「哀」卒業後10年ぐらい経って、突然伊藤博夫先生がお亡くなりになりました。在学中、私たちは先生が病気で入院したら皆で駆けつけてお世話をしますからと冗談混じりで何度も言ったことがあります。先生は「みんなが病院にいると、入院できなくなっちゃうよ」とおっしゃっていました。卒業後の私たちの成長と活躍を見守り続けたと思つて、たに違いないと思つてい

自分の結婚式にご招待をしたく、夫と一緒に先生宅へ訪問をした際に、夫を見る先生の目がまるで嫁がせる父のよう、鋭く夫を直視していました。先生は私たちのことを娘のように思っていたのだと思ひました。改めて先生に感謝とご冥福をお祈り申し上げます。

「楽」中学から続けてきた軟式テニス部に中学時代の友人と一緒に迷わず入部しました。新入生入学歓迎会の時、テニス部キャプテンの河連先輩

の挨拶で「入部はやる気のあ
る人だけでいい、やる気のない
人はいらぬ」ときっぱり
断言された勇姿に、感激と憧
れを抱いたことを今でもはっ
きり覚えています。

毎日白球を追いかけている
(時にはサボりも入りました)、
自分なりに一生懸命やっとな
もりでいきましたが、対戦成績
は惨敗続きで、ダブルスを一
緒に組んだ島田真理子(旧姓
鈴木)には迷惑の掛けっぱな
しでした。ダブルスはお互いの
弱点をカバーし、相手の動
きを見ながら自分とそのパー

「三度」目の門出に想う 三浦 敏夫 (昭和25年山卒)



銚子に昔、県立銚子中学校
がありました。

昨年、「お山」が創立70周
年を迎えました。「県立銚
子中学校」が存続していたら
とうに百周年を迎えていたは
ずです。明治33年、県下では
千葉中学校に次いで佐倉中学
校他4校と共に創立されたの
でしたが、6年後廃校という

トナーが次にどう動くか先読
みしながら力を二つにして闘っ
ていくものであると思います。
結局、輝かしい成績は「つも
残せず」に引退の時を迎え終わ
てしまいました。でもそんな

私のパートナーを3年間愛想
を尽かすこともなく組んでく
れた島田真理子とは、今も細
く長い付き合いが続いていま
す。今後とも大切にしていき
たいと思っています。今も西高
の三年間は私の中でかけがえ
のない思い出となっています。
(国保旭中央病院 感染対策室
看護師長 感染管理認定看護師)

憂き目にあっています。
日露戦争による財政難と志
望者減がその理由でした。
昭和12年に「市立中学校」
として創立されるまでの30余
年間、この地域には、中等教
育の核と称すべき中学校があ
りませんでした。(匝瑳中は
銚子中廃校後約20年後の大正
12年の創立)この屈辱的な空
白期間が、今日に至るまでこ
の地域の文化・産業面に負の
遺産として深い影を落として
いると、思わざるを得ません。

それであればこそ、中央頼む
に足らずと、自前で中学校を、
しかも天下を睥睨する高台に
建立した先人の熱い想いと高
い志に、心底から崇拜の念を
禁じ得ないわけです。
そして今日、西高と統合し
て新生「市立銚子高校」が、

立派になっていく母校へ 石上 明宏 (昭和55年山卒銚子法人会青年部会長)



いまは、社団法人銚子法人
会、銚子支部青年部会長の役
を仰せつかっています。税務
関係の講習会や、若手経営者

まさに三度目の旅立ちの日
を迎えようとしています。
まさに感無量です。
私達両校のOBは銚子市
民と共に手を挙げてお祝
いもし、応援もするつもり
でいます。生徒諸君も時に
本校の生い立ち、銚子の教
育史を振り返り、何かを会
得して欲しいと願っています。

“University is not a
building.”これは著名な英
国の経済学者が来日した際
残していったという言葉で
す。「学校は建物ではない」
この箴言の意味を否応な
しに体得させられた戦中派
の一卒業生として、生徒諸
君にプレゼントしたい。
前途に栄光あれ!
(東京同窓会 顧問)

の異業種交流を主眼に楽しく
活動しています。若い方の加
入をお待ちしていますので、
興味がある方、銚子商工会館
内にある事務局に気軽にお問
い合わせ下さい。

今年はずいぶん、銚子の当
番にあたり、千葉県法人会青
年部の副会長で出向もしてい
ます。県内の多くの経営者
との出会いを楽しみ、忙しく県
内を動いています。
仕事のせんべいの方は、地
元の方をはじめ、多くの方に
愛されていることが実感でき、
とても感謝しております。特
に昨年は、JRとのディスティ
ネーションキャンペーンがあつ
た関係で、また、銚電の関係
でぬれせんべいが注目された
事など重なり、おみやげとし
てたくさんの方に購入してい
ただきました。ありがとうございます。

市立銚子高校へは、平成16
年に長男が入学し、銚子東ロー
タリークラブ会員の平野恭男
さん(同窓会副会長)の勧め
もあり、保護者部会の役員を
務めさせていただきました。
自分が、高校を卒業してから、
全く学校に顔を出していなかつ
たので、久しぶりに行った学
校では、工業化学科棟、図書
館が立派だったことに驚きま
した。それも、今度建て替え
になります。この次に高校に
行くのは、いつのことになる
かわかりませんが、きつとま
た、綺麗で立派になった学校

に驚くのだろうと思います。
工業化学科がなくなつてし
まったのは寂しいことですが、
これは時代の流れの中で仕方
ないことなのかもしれません。
でも、母校は母校。みんな
で、すこしでも盛り上げていけ
ばと思っています。



校舎屋上からは、利根川、かもめ大橋、神栖市の街が臨める

応援します!!

金メダリスト、 ワンジルと走った男 今もパイオニアとして走る！ 若松 佑太 (平成16年・西卒)



「ワンジルのこと、そりや、覚えていますよ。1区を走る前から、たぶん彼が1位を取るだろうと言われていたし、走り出したら、全然スピード違っていました。すごかったです。オリンピック見て、こんなにすごい人と一緒に走っていたんだ、光栄だったなんて思いました。」

「西高から東京農業大学に進学して、4年間陸上部で走ってきました。4年生の最後(今年の1月)、箱根駅伝の5区(山登り)で走りました。でも、タイムがよくなって、残念です。」

「この4月、新潟県のセキノ興産に就職して、今、陸上部で走っています。セキノ興産の陸上部は、今年、できたばかりです。これからだんだん部員を入れて、将来は、お正月(1月1日)のニューイヤーマソン(全日本実業団対抗駅伝大会)に出場できるようにするのが目標です。」

「8時から5時までは仕事もあるので、朝5時に起きて走って、会社に行って、また夕方5時から走ってという毎日です。」

「5月にあった、北陸実業団(陸上競技選手権)で、1500メートルで3位に入りました。この3位以上は、全国大会に出られるということ、今度、9月28日に山形県である全日本実業団対抗陸上(天童市)に出場します。」

「その前に、9月20日埼玉

統合を機に更なる発展を 東京同窓会へのお誘い



東京同窓会会長
岡安 宏真 (昭和34年山卒)



東京同窓会副会長
藤下 進 (昭和34年山卒)

先日、千葉マリスタスタジアムで我が母校の市立銚子高校と拓大紅陵高校との野球を観戦した。夏の甲子園をめざす両校の白熱したゲーム展開だった。我が陣営は後半に入ってワンアウト二塁、三塁の好機を掴んだ。ところが空がにわか曇り、雷の音が遠くに聞こえた。試合は中断された。大雨と雷が続く。50分位待って再開。試合の流れ

「5月の鴻巣ナイター記録会というのがある、こちらは、5000メートルで出ます。ひとまず、一番近い目標は、この記録会でいい記録を出すことです。そして、もっと頑張りたい。将来は、ニューイヤーマソンで走れるようになることです。」

「高校時代の同学年の陸上部で、走っているのは、僕だけになってしまったので、みんなの分も背負って走りたい。頑張って走っているな、あいつ頑張って走っているなとかさんの人に伝えられるようなランナーになりたいです。」

「この試合は私にとって一つの教訓になった。お山と西高が統合されたという現実を初めて目のあたりにした。1プラス1が2でなく、3を期待していた私に統合の厳しさを教えてくれた。お陰さまで、一卒業生としても「融和」と「連携」の必要性を感じることができた。西高の卒業生にはあまり知られていないと思うが、お山の卒業生で東京都及びその近郊に住まうのは在勤する者が集う「市立銚子高校東京同窓会」という会がある。この会には、お山に生徒として在籍していた者で、入会を希望する者は原則として入会できることになっている。当然のことだが、お山と西高が統合したのだから、旧西校の卒業生で、東京都およびその近郊に住まうのは在勤する者は希望すれば入会できる。旧西高卒

業生の入会を私達は大いに歓迎するところである。ご承知の通りお山の創立は昭和12年であるからして、この会の会員間の年齢差は大きい。それだけに幅のある、奥深いしかも風格のある会である。そして母校をこよなく愛し、しかも銚子を心底好きな人達の集団である。双方の母校の生い立ちには異なるも、「銚子が心底好きだ」ということはかわらないと思う。そのことを共通項として「融和」を図りたい。2年に1度の総会、年に数回開催される各界のエキスパートである会員の話を聴く卓話会、その卓話会に併せての納涼会、忘年会等の集まりがある。これらの会場は会員が社長をしているハイレベルの会館を使わせて頂いている。旧西高の卒業生各位、東京同窓会には是非とも入会されたい。そして集まり語り合い相互理解を深めたい。まずは統合の当面の課題「融和と連携」を双方の卒業生が在校生に身をもって示しては如何か。この統合を機に母校、卒業生、在校生の更なる発展を心より祈念している。(文・藤下)

//www.sekino.co.jp